

事業報告書

第14期（令和5年4月1日から令和6年3月31日まで）

I 当期の事業概況

平成23年4月より株式会社として事業を開始した当社は、ソーシャルカンパニーとして上下水道事業を取り巻くさまざまな課題の解決に貢献していくことを目指しながら、着実に事業領域を拡大してきました。令和5年9月には、前身の財団法人設立から数えて60周年を迎えました。

第5期の経営戦略計画期間（令和5年度から令和7年度まで）の初年度である当期につきましては、これまでに蓄積した技術・ノウハウを活かしながら、名古屋市上下水道局の補完・代行業務を実施するとともに、名古屋市以外の上下水道事業に対しても積極的な営業活動に取り組み、三重県桑名市及び東員町、愛知県蟹江町などの事業体のほか、公益社団法人日本水道協会や独立行政法人国際協力機構などからの業務を実施しました。

業務執行にあたりましては、高年齢嘱託員や民間の派遣労働者を活用するなど効率的な事業運営を行いつつ、新規事業の受託や事業の拡充に取り組むなど収益拡大に努めました。

この結果、2億8千9百万円余の税引前当期純利益を計上することができました。

また、経営戦略計画に掲げました取り組みや成果指標につきましては、概ね達成することができました。

なお、令和6年能登半島地震の被災地に対して、名古屋市との水道施設等被災時における応急対策の協力に関する協定に基づき、名古屋市と共に給水車等を活用した応援活動を実施しました。

当期における事業の内容及び収支等については、以下のとおりとなります。

1 名古屋市からの受託業務

ア 給水装置及び排水設備道路取付管工事等

道路内の水道本管より新築住宅等への給水装置（水道管）取付工事及び道路内の下水道本管より新築住宅等への排水設備（下水管）取付工事を実施しました。

イ 水道施設及び下水道施設並びにそれらに付随する施設の管理及び運営
山崎汚泥処理場、柴田汚泥処理場、露橋水処理センター、堀留水処理センター、鳴海改良土センター及び宝神リサイクルセンターの運転管理、八剣ポンプ所、三階橋ポンプ所、富田ポンプ所及び柴田汚泥処理場を拠点とする雨水ポンプ所などの集中運転管理、柴田水処理センターアメニティ施設の管理業務などを実施しました。

また、当期の新規事業として、柴田汚泥処理場を拠点とする柴田水処理センターの運転管理を実施しました。

ウ 水道メータの点検等

各家庭等の水道メータを検針し使用水量の管理業務を行うとともに、上下水道料金の督促及び徴収業務などを実施しました。

エ その他水道事業及び下水道事業に付帯又は関連する業務

指定排水設備工事店施行の宅内排水設備工事の現場確認業務、道路掘削跡復旧工事の監督補助業務、小規模貯水槽水道の点検業務、配水管内の水圧・水質測定調査業務及び上下水道局が実施する研修に関連する業務などを実施しました。

2 名古屋市以外からの受託業務等

桑名市、東員町及び蟹江町との実施協定に基づく事業運営に関する支援業務等、あま市における検針等の業務、北名古屋市及び清須市における排水設備工事の検査業務、瀬戸市における水道施設維持管理支援業務、志摩市における水道施設更新支援業務等を行うとともに、国際協力機構が行う海外研修員受入れ事業に係る運営補助、日本水道協会が主催する配水管工技能講習会の運営、近隣の上下水道事業体等に対する技術・技能講習の開催及び講師派遣などを実施しました。

また、当期の新規事業として、日本下水道事業団が実施する雨水ポンプ場の維持管理に係る技術援助業務の支援協力業務などを実施しました。

3 収支及び財務

当期の売上高は40億3千4百万円余となりました。一方、売上原価と販売費及び一般管理費の合計は、37億4千8百万円余となりました。この結果、営業利益は2億8千6百万円余、税引前当期純利益は2億8千9百万円余、当期純利益は2億2百万円余となりました。